

事務事業名		大船渡市魚市場維持管理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業			
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目			
	施策名	011 地域活力を担う水産業の振興				会計	款	項	目
	基本事業名	033 水産加工・流通機能の強化		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和38 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 ↓ 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		12	01	01	01
根拠法令		地方卸売市場大船渡市魚市場条例・地方卸売市場大船渡市魚市場業務規程		事務事業区分		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)			
所属	部課名	農林水産部 水産課		総体計画(※期間限定複数年度のみ)		国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0			
	課長名	新沼 秀樹		総投入量(千円)	事業費	正規模員従事人数	人件費		
	係名	漁政係	電話		27-3111	延べ業務時間	人件費計(B) 0		
	担当者	船砥 健司	内線		373	トータルコスト(A)+(B)	0		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 大船渡市魚市場の建物や整備などの施設の管理を行う。主な内容は、施設修繕、施設管理者の委託料、水道料金の負担金等である。 活性化施設等については、平成26年4月から指定管理者制度を導入し、大船渡魚市場(株)が指定管理者として管理運営を行っている。									

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
① 手段(主な活動)		名称		単位
前年度実績(前年度に行った主な活動)		ア 施設不具合対応件数		件
<ul style="list-style-type: none"> 水道料金の支出事務。施設管理業務の委託。施設修繕対応等。 水道、電気メーター等交換業務 オーバースライダーの部品交換等 		イ 保守管理委託契約件数		件
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		ウ		
<ul style="list-style-type: none"> 前年度とほぼ同じ内容。 海水浄化設備の修繕 製氷施設の各種センサーの交換業務等 		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		カ 魚市場活性化施設来場者数		千人
<ul style="list-style-type: none"> 大船渡市魚市場 		キ		
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク		
<ul style="list-style-type: none"> 施設を適正に維持管理する。 		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ 施設設備修繕要望依頼件数		件
<ul style="list-style-type: none"> 魚市場の水揚量の増加。 		シ 修繕等要望への対応率		%
		ス		

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	54,738	50,547	52,387	53,739	84,814	64,322
		一般財源	千円	1					
		事業費計(A)	千円	54,739	50,547	52,387	53,739	84,814	64,322
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	300	201	183	183	183	213
		人件費計(B)	千円	1,200	804	732	732	732	852
		トータルコスト(A)+(B)	千円	55,939	51,351	53,119	54,471	85,546	65,174
⑤ 活動指標	ア	件	3	10	5	5	5	5	
	イ	件	6	6	6	6	6	6	
	ウ								
⑥ 対象指標	カ	千人	22	25	25	30	42	42	
	キ								
⑦ 成果指標	ク								
	サ	件	7	11	6	5	5	5	
	シ	%	42.9	90.9	100.0	100.0	100.0	100.0	
	ス								

事務事業ID	0582	事務事業名	大船渡市魚市場維持管理事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	・公設市場を開設したことによる。(大船渡魚市場:昭和39年、細浦魚市場:平成5年)
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	・地方卸売市場大船渡市細浦魚市場は平成25年7月1日に用途廃止し、8月1日地元漁協へ無償譲渡された。 ・平成25年度末に新魚市場が完成したため、平成26年度以降は指定管理者制度に則った、施設の管理運営をしている。旧施設は新魚市場完成後に解体した。 ・旧魚市場解体跡地に建設した南側岸壁上屋を、平成28年3月より供用開始した。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	・新しい魚市場の建設時には想定できなかった、施設の修繕費や保守費用が発生した。 ・今後は、定期的なメンテナンス費用が必要となる。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ・魚市場は水産業振興の中核となる施設であり、その円滑な運営は、当市水産物水揚量の確保・増大、ひいては水産業振興に大きな役割を果たすものである。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ・公設市場であり、地方卸売市場大船渡市魚市場条例に基づき市が行うべき部分に関する事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ・対象は魚市場施設とその利用者、意図はその適正な維持管理であり、ともに適正である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・全国的に見ても先進的な高度衛生管理機能を持った魚市場であるが、当初に想定できなかった維持管理費が発生しているため、魚市場の機能を落とさず、費用コストを見直しする必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ・適正な維持管理ができなくなり、魚市場の円滑な運営に支障を来すことから、廃止・休止はできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・経常経費の削減に努め、必要最低限の予算で対応しており、これ以上の削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・活性化施設の管理運営は指定管理者に委託しており、人件費は通常の施設管理に係る最低限事務処理経費のみである。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・事業に要する費用は、主に魚市場施設使用料であり、受益者が負担しているものである。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	想定外の修繕等が発生しないように定期的なメンテナンスを実施する。	(2) 改革・改善による期待成果																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	・基本的にコストは、設備のメンテナンス時期に合わせて必要最小限の範囲で増減させる考え方で事業を実施するが、指定管理のあり方については、水揚量の増加や魚市場の活性化などの成果向上に向けて指定管理者との協議を継続的に行う必要がある。		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			●	維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			●																				
	維持			×																				
	低下		×	×																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	施設整備から7年が経過し、修繕件数や修繕費が増加傾向となっている。突発的に発生し、通常の卸売業務に支障となるケースも生じていることから、定期的な保守、点検及び監視等により、不具合箇所の早期把握、早期対応に努めていく必要がある。